

<報道関係各位>

2016年1月20日
株式会社 ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

「ナンバーワン・ムービー・ヒッツ 1982-2015」CD 発売記念
「MOVIE & MUSIC LIFE」キャンペーン開催

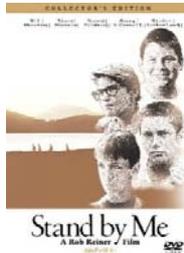
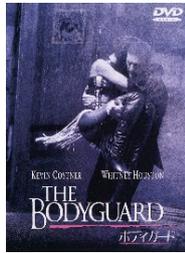
映画女子が選んだ No.1 映画主題歌・テーマ曲はアノ曲!

大好きな曲は、ぜんぶ映画が教えてくれた。

1980～90年代から現在に至るまで日本国内で大ヒットを記録した映画を中心に、主題歌やテーマ曲を厳選収録したコンピレーションCDを株式会社ソニー・ミュージックジャパンインターナショナルが発売。合わせて洋画メジャー4社(20世紀フォックス ホーム エンターテイメント ジャパン株式会社、NBC ユニバーサル・エンターテイメントジャパン合同会社、ワーナー エンターテイメント ジャパン株式会社、株式会社ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント)も連動し、DVDとブルーレイ商品売り場で「MOVIE & MUSIC LIFE」企画を順次展開する。

2015年は洋画がクローズアップされる機会が多い年だった。その背景には『スター・ウォーズ/フォースの覚醒』、『マッドマックス 怒りのデス・ロード』、『ターミネーター:新起動/ジェニシス』、『007 スペクター』、『クリド チャンプを継ぐ男』、『ミッション:インポッシブル/ログ・ネイション』、『ジュラシック・ワールド』など、1980～90年代に大ヒットを記録したシリーズ作品の新作が次々と公開されたことがある。また、『バック・トゥ・ザ・フューチャー』の30周年および『バック・トゥ・ザ・フューチャー PART2』の舞台となった「2015年10月21日」が現実にはやってきたことも、この流れに拍車をかけたといえるだろう。これらの名作を思い出すとき、同時に心によみがえるのが映画の主題歌・テーマ曲。劇中歌と共に日本中に「アナ雪」現象を起こした2014年の映画『アナと雪の女王』、『ワイルド・スピード SKY MISSION』の映画とサウンドトラックのヒット、『バック・トゥ・ザ・フューチャー』の生オーケストラによるフィルム・コンサートが開催されたことは、“映画と音楽の密接な関係性”に改めて注目が集まっていることを象徴しているかのようだ。

発売を記念して、映画好き女子が集まる「トーキョー女子映画部」の部員(総投票数 1,619 票)に「ナンバーワン・ムービー・ヒッツ 1982-2015」に収録された 36 曲についてテーマを設けてアンケートをした結果各世代によって、大きく作品の好みの傾向がわかる結果となった。



映画女子が選んだ No.1 映画主題歌・テーマ曲は『ミッション:インポッシブル』のテーマ!

【テーマ】映画女子が選ぶ No.1 主題歌・テーマ曲

映画女子たちが選んだ No.1 主題歌・テーマ曲は『ミッション:インポッシブル』のテーマに決定! 10代~60代全体で 62.9%、特に 20代と 30代の映画女子から高い支持を受け、2006年の公開から丁度 10周年を迎える今年、幅広い層からの人気があることが分かる結果となった。シリーズ各作品の興行収入は『ミッション:インポッシブル』(1996)が 70 億円、『M:I-2』(2000)が 90 億円、『M:I-3』(2006)が 50 億円、『ミッション:インポッシブル/ゴースト・プロトコル』(2011)が 50 億円、そして昨年最新作『ミッション:インポッシブル/ローグ・ネイション』も 50 億円を超える大ヒットとなっており、その認知度は絶大。1位に支持された理由として、「吹奏楽で演奏した思い出の曲。自然とテンションが上がります」(10代)、「導火線の火がジリジリ進んでいく映像が想像できる」(20代)、「これからトム・クルーズが無茶な事をします。という合図になっている」(30代)、「大好きすぎて携帯の着信音にしています」(30代)など、映画シーンと密接に結び付きながら映画好き女子の気分も上げてしまうそのリズムやテンポが支持された。ちなみに 2位にはベン・E・キングが歌う名曲「スタンド・バイ・ミー」(映画『スタンド・バイ・ミー』/1987)で 40代の映画女子から No.1 の支持を受けた。今でもリバー・フェニックスが生きていたら、と思わされてしまうスティーブ・キング原作の名作。3位には ディズニーアニメの名作『アラジン』(1993)からピーボ・ブライソン&レジーナ・ベルが歌う「ホール・ニュー・ワールド」が選ばれている。10代の映画女子から No.1 支持を受けたこの映画は当時 40 億円を超える大ヒットを記録している。全体の順位は以下の通り。

1位: ミッション:インポッシブルのテーマ/マイケル・ジアッキーニ『ミッション:インポッシブル/ゴースト・プロトコル』(2011)

2位: スタンド・バイ・ミー/ベン・E・キング『スタンド・バイ・ミー』(1987)

3位: ホール・ニュー・ワールド/ピーボ・ブライソン&レジーナ・ベル『アラジン』(1993)

4位: マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン/セリーヌ・ディオン『タイタニック』(1997)

5位: オールウェイズ・ラヴ・ユー/ホイットニー・ヒューストン『ボディガード』(1992)

6位: レット・イット・ゴー(エンド・ソング) /デミ・ロヴァート『アナと雪の女王』(2014)

7位: オー、プリティ・ウーマン/ロイ・オービソン『プリティ・ウーマン』(1990)

8位: THIS IS IT/マイケル・ジャクソン『マイケル・ジャクソン THIS IS IT』(2009)

9位: パワー・オブ・ラヴ/ヒューイ・ルイス&ザ・ニュース『バック・トゥ・ザ・フューチャー』(1985)

10位: アンチエインド・メロディー/ライチャス・ブラザース『ゴースト/ニューヨークの幻』(1990)



『ミッション:インポッシブル/ゴースト・プロトコル』(2011)

© 2011 Paramount Pictures. All Rights Reserved.

映画女子を口説くならやっぱりこの曲「マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン」セリーヌ・ディオンの (映画『タイタニック』)

【テーマ】ロマンティックな気分になってしまう No.1 主題歌・テーマ曲

映画女子がロマンティックな気分になってしまう曲。映画女子とお近づきになりたい男性諸君。ド定番だがやはりこの曲がおススメ。今から約 19 年前に公開されアカデミー賞で 11 部門を受賞、日本国内でも興行収入 260 億円を超える大ヒットを記録した『タイタニック』(1997)の主題歌、セリーヌ・ディオンの「マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン」。30 代を中心に支持され全体の 27.7%を獲得して第 1 位。僅差の 2 位には 1999 年公開、ジュリア・ロバーツ主演の『ノッティング・ヒルの恋人』からエルビス・コストロが歌う「She」。全体の 26.6%を獲得した。ロンドンの書店で働く冴えない男性とハリウッド女優が恋におちるといふ『ローマの休日』の現代版ともいえるストーリーに加えて、ジュリア・ロバーツとヒュー・グラントという 2 大スター共演で主題歌と共に興行収入 15 億円を超えるヒット作品となった。3 位にはこちらも僅差で『ゴースト/ニューヨークの幻』(1990)の主題歌ライチャス・ブラザースが歌う「アンチェインド・メロディー」。全体の 25.8%の支持を得た。愛する人が幽霊になって目の前に現れたら? なんとも切ないテーマを描いたこの作品は興行収入 50 億円を超える大ヒットを記録し、日本中を涙で包んだ。ろくろを回しながら陶器を作るシーンは映画史に残る名シーンとなった。全体の順位は以下の通り。

- 1 位 : マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン/セリーヌ・ディオンの『タイタニック』(1997)
- 2 位 : She /エルビス・コストロ『ノッティング・ヒルの恋人』(1999)
- 3 位 : アンチェインド・メロディー/ライチャス・ブラザース『ゴースト/ニューヨークの幻』(1990)
- 4 位 : ホール・ニュー・ワールド/ピーボ・ブライソン & レジーナ・ベル『アラジン』(1993)
- 5 位 : オールウェイズ・ラヴ・ユー/ホイットニー・ヒューストン『ボディガード』(1992)
- 6 位 : 愛と青春の旅だち/ジョー・コッカー & ジェニファー・ウォーンズ『愛と青春の旅だち』(1982)
- 7 位 : オー、プリティ・ウーマン/ロイ・オービソン『プリティ・ウーマン』(1990)
- 8 位 : レット・イット・ゴー(エンド・ソング) /デミ・ロヴァート『アナと雪の女王』(2014)
- 9 位 : スタンド・バイ・ミー/ベン・E.キング『スタンド・バイ・ミー』(1987)
- 10 位 : キッシング・ユー/デズリー『ロミオ + ジュリエット』(1997)



『タイタニック』(1997)

©2016 Twentieth Century Fox Home Entertainment LLC. All Rights Reserved.

映画女子おススメの気分上げ上げ主題歌・テーマ曲は『ミッション:インポッシブル』のテーマ!

【テーマ】気分上げ上げの No.1 主題歌・テーマ曲

2016年を迎え、気持ちを新たに新年に過ごしていきたいあなた、まずは気分を上げてみてはいかがでしょうか。映画女子がおススメする主題歌・テーマ曲第1位は、またしても『ミッション:インポッシブル』のテーマ曲が幅広い年齢層の映画女子から50.7%の支持を集めて圧倒的な1位となった。「自分がスパイになったつもりになれてテンションが上がる」(20代後半)、「ター(°▽°)ー!」って感じです。」(30代後半)「何かに挑戦する時には自分の中で流れています。」(30代後半)、「危機感があってスリリングで素敵」(40代)、「上がる!」(50代)、「イントロにとてもインパクトがある」(60代)など、前向きになりたい/挑戦したい時にピッタリの音楽&映画だと言える。

2位には全体の24.9%の支持を得た、『バック・トゥ・ザ・フューチャー』の主題歌「パワー・オブ・ラヴ」。歌うのはヒュー・イルイス&ザ・ニュース。興行収入は60億円を超える大ヒット。「バック・トゥ・ザ・フューチャー PART2」(1989)は90億円、「バック・トゥ・ザ・フューチャー PART3」(1990)は70億円を超える大ヒットシリーズ。30周年を迎えた昨年には世界的な話題となり、作品が持つ影響力の大きさを改めて実感した。3位には2013年公開『怪盗グルーのミニオン危機一発』の主題歌でファレル・ウィリアムスが歌う「ハッピー」が全体の19.2%の支持を得てランクイン。曲名の通り「とにかくハッピーになれるアップテンポな曲」という意見が多い。この映画も興行収入25億円のヒットとなっている。全体の順位は以下の通り。

- 1位: ミッション:インポッシブルのテーマ/マイケル・ジアッキーニ『ミッション:インポッシブル/ゴースト・プロトコル』(2011)
- 2位: パワー・オブ・ラヴ/ヒュー・イルイス&ザ・ニュース『バック・トゥ・ザ・フューチャー』(1985)
- 3位: ハッピー /ファレル・ウィリアムス『怪盗グルーのミニオン危機一発』(2013)
- 4位: デンジャー・ゾーン/ケニー・ロギンス『トップガン』(1986)
- 5位: フットルース/ケニー・ロギンス『フットルース』(1984)
- 6位: レット・イット・ゴー(エンド・ソング) /デミ・ロヴァート『アナと雪の女王』(2014)
- 7位: アイ・オブ・ザ・タイガー/サバイバー『ロッキー3』(1982)
- 8位: フラッシュダンス...ホワット・ア・フィーリング/アイリーン・キャラ*『フラッシュダンス』(1983)
- 9位: 新・仁義なき戦いのテーマ /布袋寅泰『キル・ビル』(2003)
- 9位: THIS IS IT/マイケル・ジャクソン『マイケル・ジャクソン THIS IS IT』(2009)



『バック・トゥ・ザ・フューチャー』(1985)

© 1985 Universal Studios. All Rights Reserved.

映画女子にはどんな映画のDVDプレゼントが最適？

10代には『アラジン』、20～30代には『ミッション:インポッシブル』、40代には『スタンド・バイ・ミー』
50代には『ボディ・ガード』、60代には『ミッション:インポッシブル』と『ボディ・ガード』。

【テーマ】各年代層別の No.1 主題歌・テーマ曲

各世代別に支持された作品を見ていくと、10代の映画女子に No.1 支持されたのは『アラジン』(1993)の「ホール・ニュー・ワールド」(ピーボ・ブライソン&レジーナ・ベル)。2位には2014年の大ヒット映画『アナと雪の女王』から「レット・イット・ゴー(エンド・ソング)」(デミ・ロヴァート)がランクインし、今も昔も変わらないディズニーアニメの強さを示す結果となった。同率2位にはベン・E・キングが歌う「スタンド・バイ・ミー」(映画『スタンド・バイ・ミー』/1987)。今から約30年前の映画にも関わらず10代の映画女子からも支持を獲得している。

20代の映画女子には、『ミッション:インポッシブル』のテーマ曲が No.1 支持されており、第2位には『アラジン』(1993)の主題歌「ホール・ニュー・ワールド」(ピーボ・ブライソン&レジーナ・ベル)、第3位にはベン・E・キングが歌う「スタンド・バイ・ミー」(映画『スタンド・バイ・ミー』/1987)がランクインしている。10代に続き、若い世代の映画女子にも名作はしっかりと語り継がれている結果となっている。

30代映画女子には『ミッション:インポッシブル』のテーマ曲が No.1 支持されており、同率2位には「マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン」セリーヌ・ディオン『タイタニック』(1997)、「ホール・ニュー・ワールド」(ピーボ・ブライソン&レジーナ・ベル)『アラジン』(1993)、オールウェイズ・ラヴ・ユー/ホイットニー・ヒューストン『ボディガード』(1992)の3曲がランクイン。大学生時代から20代にかけて鑑賞してあろう、思い出の作品が支持されている。

40代には「スタンド・バイ・ミー」(ベン・E・キング)『スタンド・バイ・ミー』(1987)が No.1 支持を獲得。2位には『ミッション:インポッシブル』のテーマ、3位には「アンチェインド・メロディー」(ライチャス・ブラザース)『ゴースト/ニューヨークの幻』(1990)と90年代を代表する作品がランクインし世代の特徴を感じさせる結果となった。

50代には「オールウェイズ・ラヴ・ユー」(ホイットニー・ヒューストン)『ボディガード』(1992)、『ミッション:インポッシブル』のテーマ、「スタンド・バイ・ミー」(ベン・E・キング)『スタンド・バイ・ミー』(1987)の順にランクイン。

60代には『ミッション:インポッシブル』のテーマ、「オールウェイズ・ラヴ・ユー」(ホイットニー・ヒューストン)『ボディガード』(1992)、「パワー・オブ・ラヴ」(ヒュー・イルイス&ザ・ニュース)『バック・トゥ・ザ・フューチャー』(1985)の順にランクインしている。



『スタンド・バイ・ミー』(1987)

© 1986 COLUMBIA PICTURES INDUSTRIES, INC. ALL RIGHTS RESERVED.



『ボディガード』

© 1992 Warner Bros. Entertainment Inc. All Rights Reserved.

こうして各ランキングを見返してみると音楽と映画の結びつきは非常に強く、映画のヒットには心に残る主題歌やテーマ曲が必要ということが言えるのではないだろうか。2015年の洋画復興を経て“映画と音楽の密接な関係性”に改めて注目が集まる中、もう一度、あの名作と名曲の世界に浸ってみるのはどうだろうか。

ナンバーワン・ムービー・ヒッツ 1982-2015

『ナンバーワン ムービー・ヒッツ 1982-2015』

2 枚組全 36 曲収録 歌詞・対訳・解説付

SICP4742-3 定価 ¥ 2,700 + 税

2016 年 1 月 20 日発売

URL: <http://www.sonymusic.co.jp/no1moviehits>

収録曲

DISC1

01. ミッション:インポッシブルのテーマ/マイケル・ジアッキーニ 『ミッション:インポッシブル/ゴースト・プロトコル』(2011)
02. ハッピー/ファレル・ウィリアムス 『怪盗グルーのミニオン危機一発』(2013)
03. レット・イット・ゴー(エンド・ソング) /デミ・ロヴァート 『アナと雪の女王』(2014)
04. パワー・オブ・ラブ/ヒューイ・ルイス & ザ・ニューズ 『バック・トゥ・ザ・フューチャー』(1985)
05. She/エルヴィス・コストロ 『ノットHINGヒルの恋人』(1999)
06. デンジァー・ゾーン/ケニー・ロギンス 『トップガン』(1986)
07. アイ・オブ・ザ・タイガー/サバイバー 『ロッキー3』(1982)
08. 新・仁義なき戦いのテーマ(Battle Without Honor Or Humanity) /布袋寅泰 『キル・ビル』(2003)
09. フットルース/ケニー・ロギンス 『フットルース』(1984)
10. グーニーズはグッド・イナフ/シンディ・ルーパー 『グーニーズ』(1985)
11. インディペンデント・ウーマン Part.1 /デスティニーズ・チャイルド 『チャーリーズ・エンジェル』(2000)
12. サムデイ、サムハウ、サムワンス・ガッタ・ベイ/ザ・パワー・ステーション 『コマンドー』(1986)
13. アンチエインド・メロディー/ライチャス・ブラザース 『ゴースト/ニューヨークの幻』(1990)
14. パシフィック・リム〜メイン・テーマ/ラミン・ジャヴァディ feat. トム・モレロ 『パシフィック・リム』(2013)
15. THIS IS IT/マイケル・ジャクソン 『マイケル・ジャクソン THIS IS IT』(2009)
16. スタンド・バイ・ミー/ベン・E.キング 『スタンド・バイ・ミー』(1987)
17. コブラのテーマ〜アメリカズ・サンズ/ジョン・キャファティエ & ザ・ビーバー・ブラウン・バンド 『コブラ』(1986)
18. キープ・ホールディング・オン/アヴリル・ラヴィーン 『エラゴン 遺志を継ぐ者』(2006)

DISC2

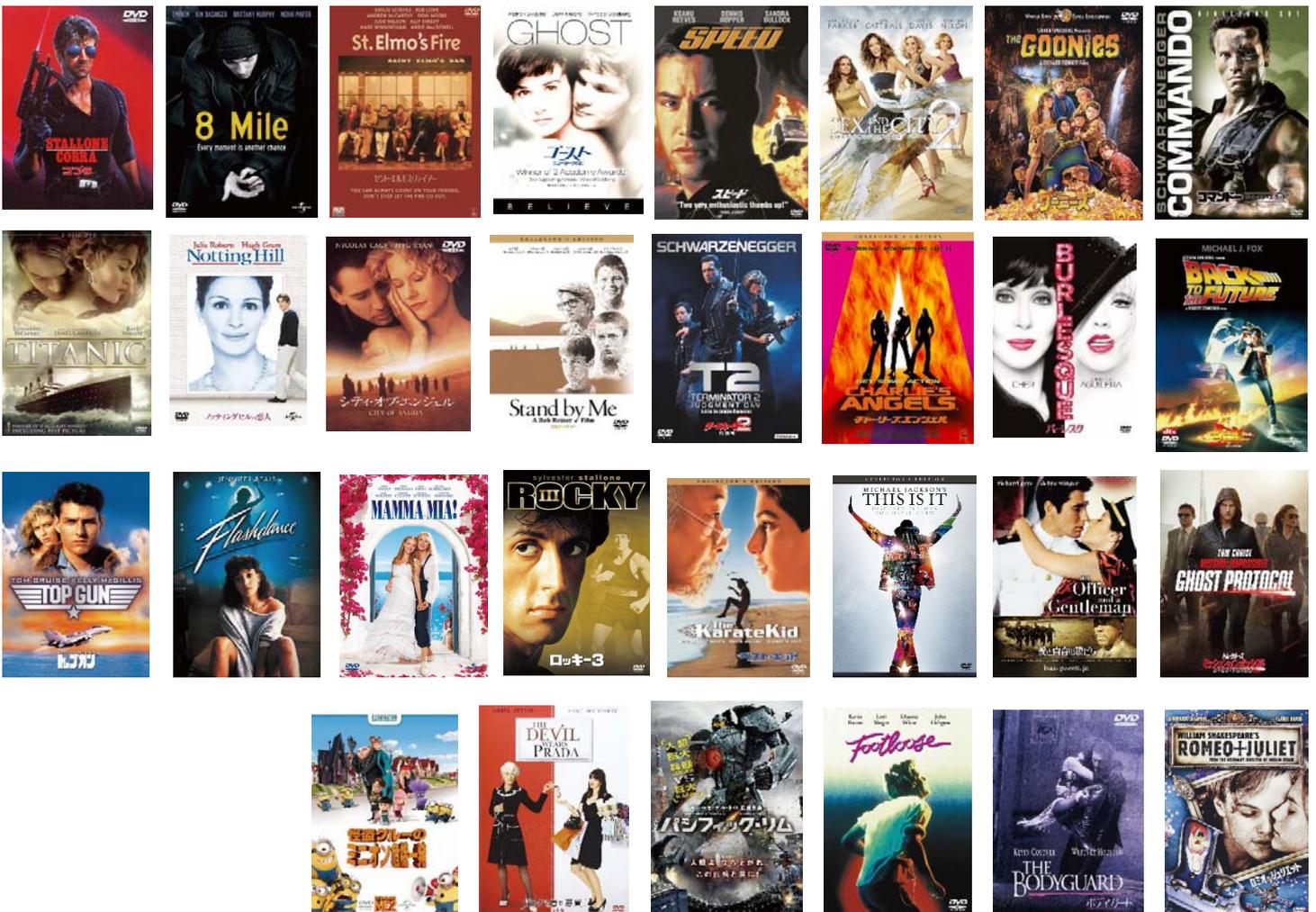
01. ミザル/ディック・デイル & ヒズ・テル・トーンズ 『バルブ・フィクション』(1994)
02. オー、プリティ・ウーマン/ロイ・オービソン 『プリティ・ウーマン』(1990)
03. マイ・ハート・ウィル・ゴー・オン/セリヌ・ディオ 『タイタニック』(1997)
04. セント・エルモス・ファイアー〜愛のテーマ/デヴィッド・フォスター 『セント・エルモス・ファイアー』(1986)
05. フラッシュダンス...ホワット・ア・フィーリング/アイリーン・キャラ* 『フラッシュダンス』(1983)
06. 愛はとまらない/スターシップ 『マネキン』(1988)
07. エンパイア・ステート・オブ・マインド(Part2)ブロークン・ダウン/アリシア・キーズ 『セックス・アンド・ザ・シティ 2』(2010)

08. ホール・ニュー・ワールド/ピーボ・ブライソン & レジーナ・ベル 『アラジン』(1993)
09. アイ・ドント・ウォント・トゥ・ウェイト/ポーラ・コール 『シティ・オブ・エンジェル』トレーラー(1998)
10. アリス/アヴリル・ラヴィーン 『アリス・イン・ワンダーランド』(2010)
11. ディーパー・アンダーグラウンド/ジャミロクワイ 『GODZILLA』(1998)
12. 愛と青春の旅だち/ジョー・コッカー & ジェニファー・ウォーンズ 『愛と青春の旅だち』(1982)
13. ココモ/ピーチ・ボーズ 『カクテル』(1989)
14. ベスト・キッド〜ザ・モーメント・オブ・トゥルース/サバイバー 『ベスト・キッド』(1985)
15. キッシング・ユー/デズリー 『ロミオ+ジュリエット』(1997)
16. スピード/ビリー・アイドル 『スピード』(1994)
17. ミラクルズ/アダム・ランバート 『2012』(2009)
18. オールウェイズ・ラヴ・ユー/ホイットニー・ヒューストン 『ボディガード』(1992)

*は95年再録 Version | ()内の数字は日本公開年

MOVIE&MUSIC LIFE <店頭で展開されるパッケージ紹介>

DVD&ブルーレイ好評発売中



協力

20世紀フォックス ホーム エンターテイメント ジャパン株式会社

NBC ユニバーサル・エンターテイメントジャパン合同会社

ワーナー エンターテイメント ジャパン株式会社

株式会社ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル

トーキョー女子映画部 http://www.tst-movie.jp/voice01/vc65_160120001.html

発売元:ワーナー・ブラザーズ・ホームエンターテイメント

(c) 2016 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved.

発売元:NBC ユニバーサル・エンターテイメント

(c) 2016 Universal Studios. All Rights Reserved.

発売元:(株)ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

(c) 2016 Sony Pictures Entertainment (Japan) Inc. All rights reserved.

発売元:パラマウント ジャパン

(c) 2016 Paramount Pictures. All Rights Reserved.

発売元:20世紀フォックス ホーム エンターテイメント ジャパン

(C)2016 Twentieth Century Fox Home Entertainment LLC. All Rights Reserved.

(C)2016 Metro-Goldwyn-Mayer Studios Inc. All Rights Reserved. Distributed by Twentieth Century Fox Home Entertainment LLC.

【お問合せ先】

【ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント】TEL:03-6721-2635 (代表:03-6721-2721) FAX:03-6721-2502
(株)Kプレス/扇谷(ohgiya@kpress.co.jp)、伊藤(ito@kpress.co.jp) TEL:03-5550-1816 FAX:03-5550-1817